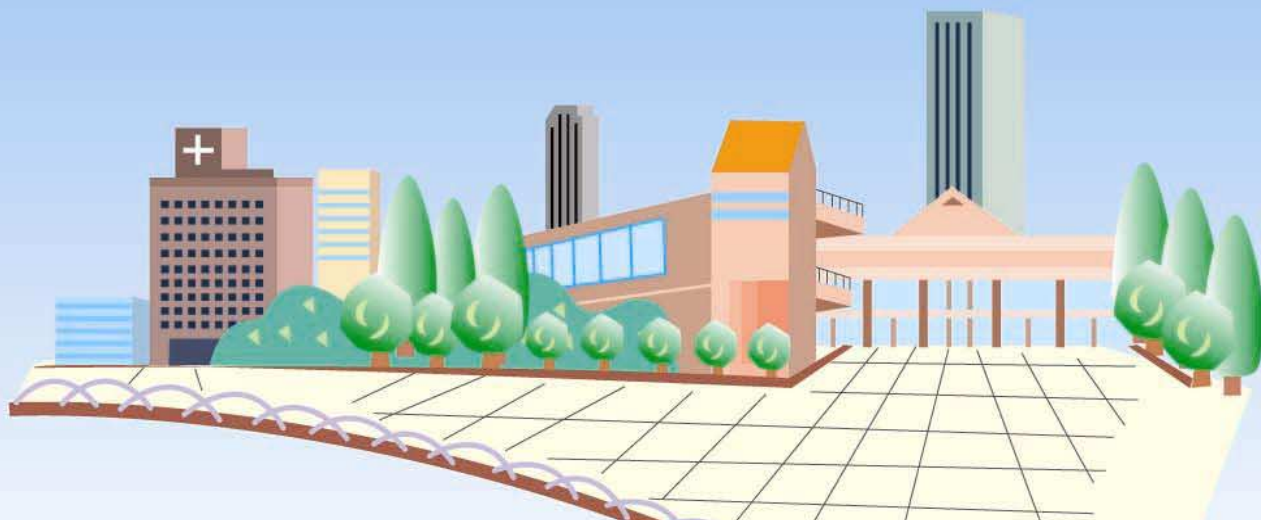


概要版

# 太宰府市地域省エネルギービジョン



## 目次

1. 省エネルギーに向けた取り組みが求められています	1
(1) エネルギー問題と地球温暖化について	1
(2) 太宰府市における省エネルギー対策の必要性	2
2. 太宰府市の省エネルギー基本方針	3
(1) ビジョンの基本的事項	3
(2) 省エネルギー基本方針	4
3. みんなでめざす省エネルギーの目標	4
4. 重点プロジェクトとその進め方	5
5. 太宰府市で取り組む省エネルギー行動	8
(1) 各主体の役割	8
(2) 省エネルギー行動指針	9
6. みんなが省エネルギーに参加する仕組み	11

平成16年3月

太宰府市

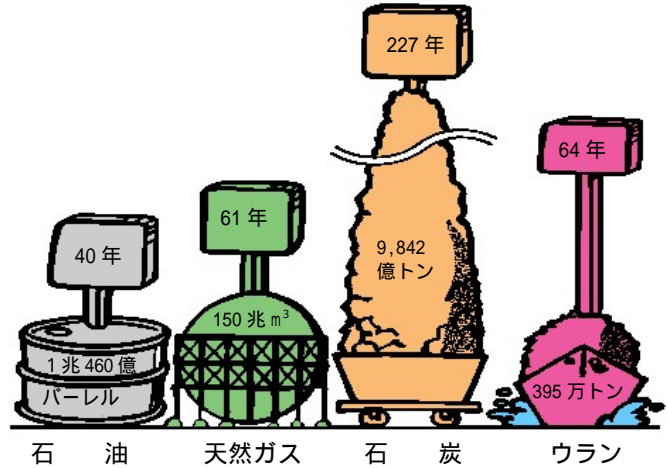
# 1. 省エネルギーに向けた取り組みが求められています

## (1) エネルギー問題と地球温暖化について

### ▼ 化石燃料は無限ではありません（エネルギー資源の有限性）

現在、世界で使われているエネルギーの4分の3以上が石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料で賄われています。しかし、これらの燃料は無限にあるわけではなく、石油、天然ガス、ウラン等のエネルギー資源の可採年数が50年前後となっており、このままの利用を続けていけば21世紀中に資源がなくなり、利用できなくなる可能性があります。特に、エネルギー資源の80%を輸入に依存している日本はあらゆる面で重大な危機に陥ることが心配されます。

◆ 世界のエネルギー資源埋蔵量

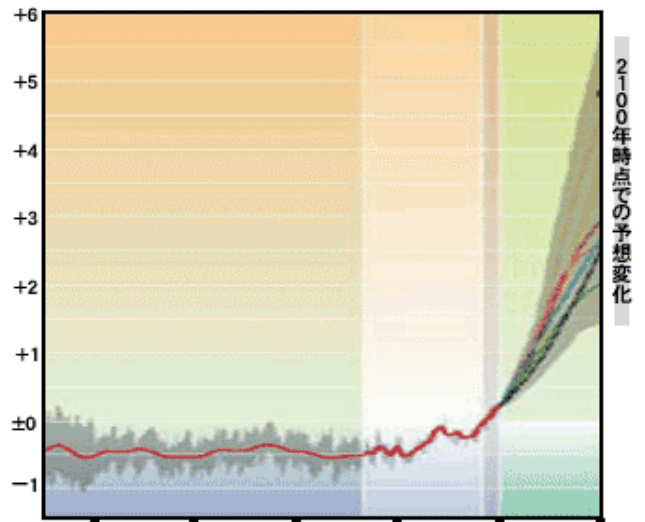


資料：総合エネルギー統計

### ▼ このまま地球温暖化が進むと世界的に深刻な影響を受けることが予想されます（地球温暖化の進行と影響）

近年、急速に進行しつつある地球温暖化は、化石燃料の消費に伴って大気中に排出される二酸化炭素の急激な増加が主な原因とされています。このまま地球温暖化が進むと、2100年には、地球上の気温が平均で1.4~5.8 上昇（日本は4~5 上昇）することが予測されており、その結果、世界的に深刻な影響を受けることになります。

◆ 地球の平均気温の変化と予測



資料：全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ

### 温暖化が進むことによる地球規模の影響

- ① 海水面の上昇
  - ・ 砂浜の消失、低地の水没
- ② 野生生物種・森林の減少
  - ・ 現存する生物種の絶滅
- ③ 伝染病の蔓延
  - ・ マラリアなど熱帯性感染症の増加
- ④ 異常気象の増加
  - ・ 洪水、干ばつなどによる自然災害の増加
- ⑤ 農作物への被害
  - ・ 気候の変化や病害虫の増加による食糧難

など



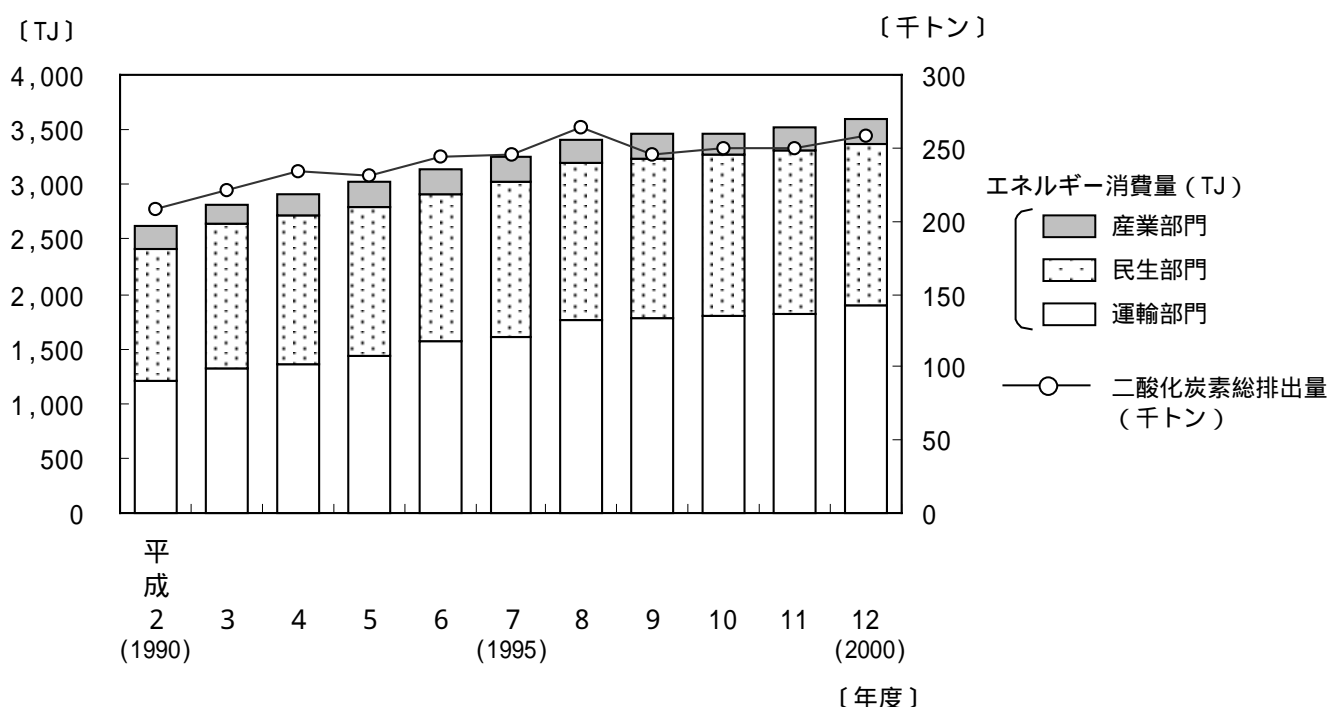
温暖化によって海没が心配されるサンゴ礁の島々、中部太平洋マーシャル諸島マジロ環礁

## (2) 太宰府市における省エネルギー対策の必要性

### ▼ エネルギー消費量とそれに伴う二酸化炭素排出量は年々増加しています (市のエネルギー消費量と二酸化炭素排出量の現状)

平成 2 (1990) 年度から平成 12 (2000) 年度までの太宰府市におけるエネルギー消費量をみると年々増加しているのがわかります。エネルギー消費の特徴としては、産業部門の割合が極端に少なく、この影響で、民生部門と運輸部門の割合が大きくなっています。平成 2 (1990) 年度からの伸び率は、最大の部門である運輸部門の増加率が圧倒的に高く、民生部門がこれに次いでいます。また、エネルギー消費量の増加にともない、二酸化炭素排出量も年々増加しています。

#### ◆ 市内のエネルギー消費量と二酸化炭素排出量



### ▼ 太宰府市で生活・活動する全ての人々が積極的に省エネルギーに取り組む必要があります (市における省エネルギーの必要性)

市民の地球環境問題に対する意識は、地球温暖化やエネルギー資源の将来への危機感を感じているものの、市内のエネルギー消費量は、生活の快適指向の向上などにより、増加の一途をたどっています。

よって、限られた資源を将来に引き継ぎ、地球温暖化を防止するためにも私たちのくらしや社会の仕組みを見つめ直し、市内で生活・活動する全ての人々が積極的に省エネルギーに取り組んでいくことが必要といえます。



## 2. 太宰府市の省エネルギー基本方針

### (1) ビジョンの基本的事項

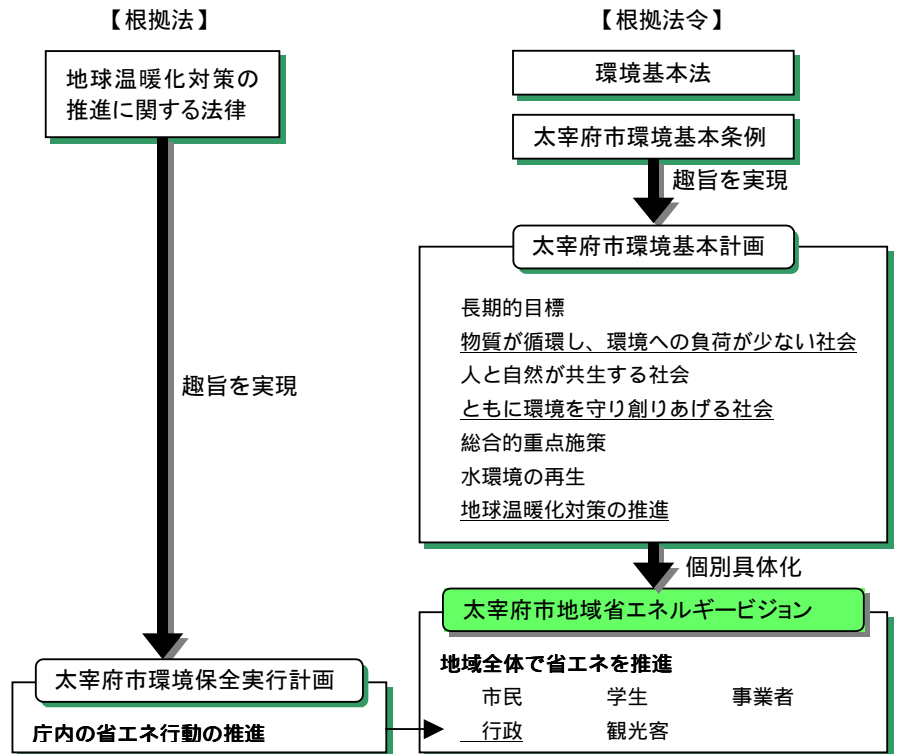
#### ▼ 太宰府市地域省エネルギービジョンは市における地球温暖化防止の指針となるものです（ビジョンの位置づけ）

国際的にも京都議定書の発効が目前に迫った今、地球温暖化防止に向けた地域として地球温暖化防止の取り組みを強化することが求められています。

また、平成 12 年度に策定した第 2 次環境基本計画（以下「環境基本計画」）では、地球温暖化対策の推進を総合的重点施策として掲げています。

よって、太宰府市地域省エネルギービジョンを、環境基本計画の地球温暖化対策の部門計画として位置づけ、市全体で地球温暖化防止の取り組みを進めていくための指針とします。

#### ◆ 太宰府市地域省エネルギービジョンの位置づけ

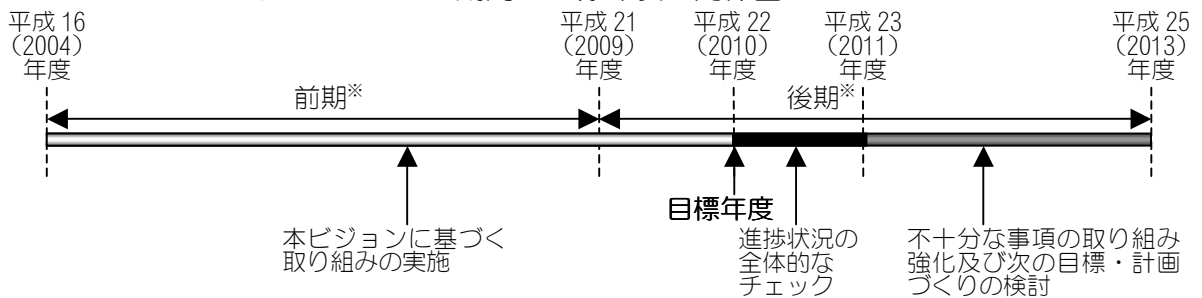


#### ▼ 今後の 10 年間のビジョンを示しています（ビジョンの対象・期間）

ビジョンの対象地域は太宰府市全域とし、ビジョンの期間は平成 16(2004)年度から平成 25(2013)年度までの 10 年間とします。ただし、ビジョンの数値目標は第 2 次環境基本計画における目標年度である平成 22(2010)年度とし、その年度でビジョンの進捗状況の全体的なチェックを行います。

そして、残りの平成 23(2011)～25(2013)の 3 年間は不十分な事項について取り組みを強化するとともに、次の目標・計画づくりに取り組みます。なお、毎年 の点検の中においても必要に応じて、適宜見直しを行うものとします。

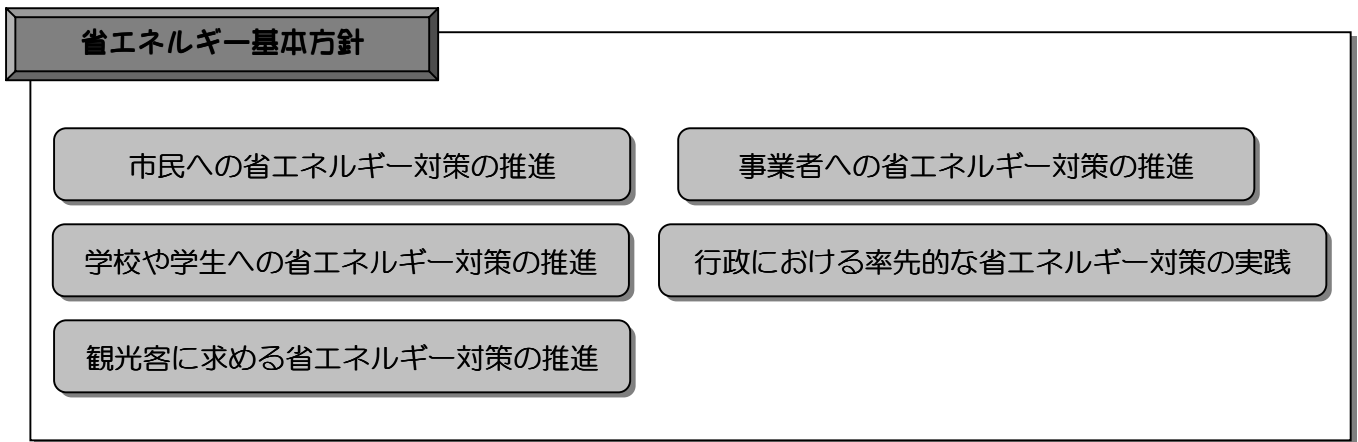
#### ◆ ビジョンの期間と目標年度の関係図



ビジョンに掲げる重点プロジェクトは、計画期間である平成 25(2013)年度までを前期〔平成 16(2004)年度～平成 20(2008)年度〕から検討・実施するものと後期〔平成 21(2009)年度～平成 25(2013)年度〕から検討・実施するものとに分け、国等の支援制度の活用や関係する団体などとの連携を図りながら推進していきます。

## (2) 省エネルギー基本方針

太宰府市に合った特徴ある省エネルギー対策を具体的に推進するためには、観光地・学園都市という太宰府市の地域特性を踏まえ、対象を明確にしてビジョンを進めていく必要があります。



## 3. みんなでめざす省エネルギーの目標

ビジョンでは平成 22 (2010) 年度の省エネルギー目標を次のように設定します。

### 目標年度の平成 22 (2010) 年度の省エネルギー目標

平成 22 (2010) 年度の太宰府市のエネルギー消費量を

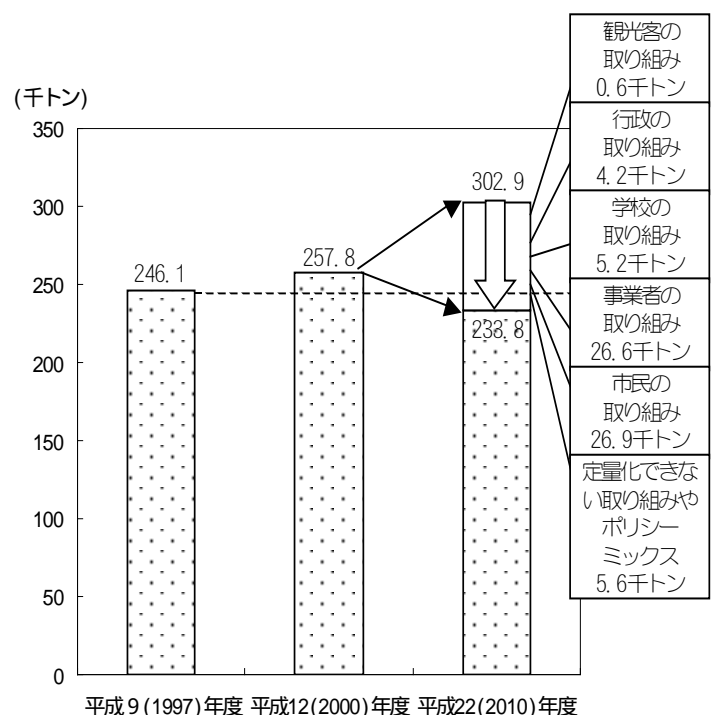
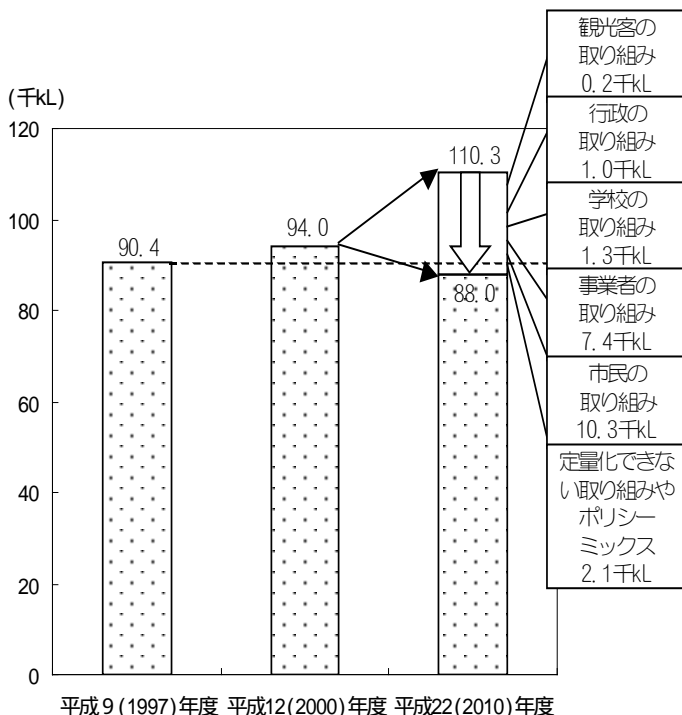
平成 9 (1997) 年度比で **2.7%の削減** を目指します。

(二酸化炭素排出量で見ると、**5.0%の削減**)

### ◆ 太宰府市の省エネルギー目標に向けた各主体の取り組み

〔エネルギー消費量 (原油換算)〕

〔二酸化炭素排出量〕



## 4. 重点プロジェクトとその進め方

「2. 太宰府市の省エネルギー基本方針」に基づき、市民、事業者、学校・学生、行政、観光客という5つの主体ごとにプロジェクトを設定し、重点的な取り組みを進めていきます。

本ビジョンに掲げた重点プロジェクトの実実施スケジュールは以下のとおりです。

### ◆ 市民に対する省エネルギー推進プロジェクト

プロジェクト名	前期 [平成16(2004)年度～平成20(2008)年度]	後期 [平成21(2009)年度～平成25(2013)年度]
	省エネルギーや地球温暖化問題に関する情報提供・交流	継続的な情報収集及び広報・市ホームページによる情報提供 市民会議設立 市民会議の活動実施
家庭における省エネルギー診断の促進	継続的な情報収集及び広報・市ホームページによる情報提供	
エネルギーマネジメントシステム導入の促進	情報収集	本格実施にあわせた情報提供
省エネ家族宣言制度	事例収集 市民会議で仕組みの検討 実施	
省エネルギーモニター制度【継続】	現モニターによる継続調査・分析 モニター数の拡充と継続的な調査・分析	
コミュニティバス「まほろば号」の活用促進【継続】	利用促進に向けた継続的なPR 利便性向上のための運行強化の検討・実施	
パークアンドライドの促進【継続】	現駐車場の継続的活用 新たな駐車場の適地検討及び開設・活用	
ノーマイカー・デーの推進【継続】	行動定着に向けた継続的なPRと要請	
自動車共同利用システム（カーシェアリング）の導入	事例収集	導入に向けたシステムの検討・実施
低公害車の導入促進【継続】	継続的な情報収集及び広報・市ホームページによる情報提供 エコステーションの設置拡大	
徒歩や自転車利用の推進	歩行者・自転車利用者に配慮した道路整備・駐輪場整備の検討・実施	
人材の育成	事例収集 市民会議で仕組みの検討 実施	
環境基金の活用と市民や事業者が参加する新たな基金の創設	事例収集 市民会議で仕組みの検討 実施	
雨水利用など節水の促進	継続的な情報収集及び広報・市ホームページによる情報提供	
ごみの排出抑制と資源化【継続】	広報等による継続的な周知徹底、情報提供 資源回収しやすいシステムづくりの検討・実施	

◆ 事業者に対する省エネルギー推進プロジェクト

プロジェクト名	前期	後期
	[平成16(2004)年度～平成20(2008)年度]	[平成21(2009)年度～平成25(2013)年度]
省エネルギーや地球温暖化問題に関する情報提供・交流	継続的な情報収集及び市ホームページ等による情報提供 省エネルギー説明会の開催 市民会議設立 市民会議の活動実施	
事業所における省エネルギー診断やESCO事業等の促進	継続的な情報収集及び市ホームページ等による情報提供	
エネルギーマネジメントシステム導入の促進	情報収集	本格実施にあわせた情報提供
省エネ事業所宣言制度	事例収集 市民会議で仕組みの検討 実施	
省エネルギーモデル事業所表彰制度	事例収集 市民会議で仕組みの検討 実施	
二酸化炭素排出削減計画の提出と報告の要請		協力要請の継続的な実施
コミュニティバス「まほろば号」の活用促進【継続】	利用促進に向けた継続的なPR 利便性向上のための運行強化の検討・実施	
パークアンドライドの促進		駐車場の適地検討及び開設・活用
ノーマイカー・デーの推進	行動定着に向けた継続的なPRと要請	
自動車共同利用システム（カーシェアリング）の導入	事例収集	導入に向けたシステムの検討・実施
低公害車の導入促進	継続的な情報収集及び市ホームページ等による情報提供 エコステーションの設置拡大	
市民や事業者が参加する新たな基金の創設		新たな基金創設の検討・実施
雨水利用など節水の促進	継続的な情報収集及び市ホームページ等による情報提供	
ごみの排出抑制と資源化【継続】	継続的な啓発及び活動依頼	

◆ 学校・学生に対する省エネルギー推進プロジェクト

プロジェクト名	前期	後期
	[平成16(2004)年度～平成20(2008)年度]	[平成21(2009)年度～平成25(2013)年度]
省エネルギー対策の紹介と施設改修の要請	継続的な情報収集及び市ホームページ等による情報提供、取り組み要請	
学生・市民の学習の場としての協力要請	継続的な協力要請	
専門的知識の提供依頼	継続的な情報収集及び協力要請・対策の検討、実施	
学生に対する情報提供	継続的な情報収集及び広報・市ホームページによる情報提供	
ごみの排出抑制と資源化【継続】	継続的な啓発及び取り組み依頼	

◆ 行政の率直的な省エネルギー推進プロジェクト

プロジェクト名	前期	後期
	[平成16(2004)年度～平成20(2008)年度]	[平成21(2009)年度～平成25(2013)年度]
庁内や学校での省エネルギー行動の継続推進【継続】	環境保全実行計画の推進	
	学校における効果的な行動の検討・実施	
公共施設の省エネルギー診断・省エネルギー改修の計画的推進	公共施設における省エネルギー診断	
	ESCO事業の導入等計画的な省エネルギー改修の実施	
	省エネナビの設置	省エネルギー教育・意識の啓発
公用車への低公害車・低燃費車等の導入推進【継続】	計画的な導入の検討・実施	
	公用自転車の導入・活用	
省エネルギー学習や研修プログラムの作成	事例収集	プログラム内容の検討・作成
市内学校における省エネルギー教育の実践	省エネルギー教育の普及	
	こどもエコクラブの支援と拡大	
「省エネルギーモデル地区」の設定と社会実験	事例収集	社会実験の実施、効果の検証、取り組みの施策への反映
省エネルギー対策としての地域通貨の導入	事例収集	
	制度内容の検討	導入、実施
総合的な交通システムの構築【継続】	交通事業者との連携による総合的な交通システムの検討・実施	
	公共交通機関利用促進策の検討・実施	
ごみの排出抑制と資源化【継続】	ごみ処理基本計画の実施及び定期的見直し	
	広報等による継続的な周知徹底、情報提供	

◆ 観光客に求める省エネルギー推進プロジェクト

プロジェクト名	前期	後期
	[平成16(2004)年度～平成20(2008)年度]	[平成21(2009)年度～平成25(2013)年度]
観光施設や観光客が利用する場所における省エネルギー対策	継続的な啓発及び取り組み依頼	
太宰府市における省エネルギー体験	継続的な啓発	
軽自動車、低公害車・低燃費車の利用促進	事例収集	優遇制度の検討・実施
市内駐車場におけるアイドリリングストップの促進	事例収集	条例の施行・運用
自動車共同利用システム(カーシェアリング)導入の検討	事例収集	導入に向けたシステムの検討・実施
公共交通機関利用の促進	利用促進に向けた継続的なPR	
	利便性向上のための運行強化の検討・実施	
	「まほろば号」の循環型観光ルートの検討・実施	
パークアンドライドの促進【継続】	事例収集	導入に向けたシステムの検討・実施
自転車利用の推進【継続】	歩行者・自転車利用者に配慮した道路整備・駐輪場整備の検討・実施	
	レンタサイクル制度拡充の検討・実施	
ごみの排出抑制と資源化	継続的な啓発	

## 5. 太宰府市で取り組む省エネルギー行動

注) 節約金額は、「Let's スマートドライブ 2003 (省エネルギーセンター)」、「家庭の省エネ大事典 (省エネルギーセンター)」の数値を用いています。

### 1) 市民の省エネルギー行動指針

#### 市民・学生に求められる役割

地球温暖化を防止するためには、省エネルギーは大きな対策・手段です。市民は、省エネルギー・省資源・新エネルギーの活用必要性を理解して、全市民をあげて省エネルギー行動の実践に努めることが求められます。

また、学生は、地球温暖化の現状を認識し、エネルギーからみた現在のライフスタイルを見直して、省エネルギー行動の実践に努めることが求められます。

#### 自動車・交通

軽自動車、低公害車や低燃費車などの省エネルギー車を購入します。  
省エネルギー・安全運転に努めます。

- ・アイドリングストップを実行する (1日10分やめると年間で1台あたり約5,400円の節約)
  - ・急発進・急加速・急停止・空ぶかしをやめる (ゆったり発進すると年間で1台あたり約1,890円の節約)
- 公共交通機関の利用とパークアンドライドへの参加を心がけます。

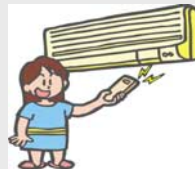


#### 電気製品等

省エネ認定製品(eマークのついた製品等)の購入に努めます。  
大人と子供の家庭内の役割分担を決めて、省エネルギーを心がけます。

##### (A) 大人の役割

- ・エアコン(冷房時28、冬20)・風呂の適温調節を行います。(設定温度を冷房27、28、暖房21、20にすると年間で1台あたり約2,020円の節約)
- ・電気製品を使用しないときは、電気を消したり、コンセントを抜いたりして、子供の良い手本となるように心がけます。



##### (B) 子供の役割

- ・テレビ・ゲーム機等は、あらかじめ時間を決めてから使用するよう心がけます。(1日1時間テレビを見る時間を減らすと年間で1台あたり約940円の節約)



#### ごみ

4R運動(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)を進めます。

- ・買い物の際には、マイバックを持参するよう心がけます。
- ・包装の簡素化を求めていきます。



#### 水・住宅

雨水貯水タンクを設置します。  
節水コマを取り付けます。  
雨水や風呂水を再利用します。  
新築・改築の際には住宅の省エネルギー化を考慮します。  
太陽光発電など自然エネルギーを活用した設備を設置します。

#### エコワットを使用した市民省エネモニター事業に参加された方からのメッセージ

Aさん: 対象とする器具、場所を家族全員が確認しあうこと、目印をつけて常に気にかけておくことが必要。  
1ヶ月経過した時に、前月、あるいは前年との比較をし、反省を繰り返す。

“三日坊主”にならないように目標を達成すると、皆で祝福のパーティーをやり、次に進んでは!  
Bさん: 毎日の生活の1人の力が世界の力となるよう1人の努力と家族協力で我慢し、皆で継続しましょう。  
節電、節水、ガス、灯油、ガソリン等節約し、ゴミは再利用への努力と機器は省エネタイプを選択しよう!

Cさん: 省エネイコール家計が助かるという感覚で家族みんなでやってみましょう!

Dさん: 無理をしない。習慣になるまでが勝負です(何でもですけど)

提言

「省エネとは家族協力、我慢、継続、アイデア、努力、ケチである。」

## 2) 事業者の省エネルギー行動指針

### 事業者に求められる役割

事業者は、地球温暖化の現状を認識し、省エネルギーがコスト削減につながるものとして、取り組んでいくことが求められます。

### 組織体制など

市や各種団体などから情報を得て、職場で省エネルギーに関する話し合いや研修を行うよう心がけます。  
省エネルギー担当者を設置して、日常的な取り組みや数値目標を立てるよう心がけます。



### 自動車・交通

軽自動車、低公害車や低燃費車などの省エネルギー車を購入します。  
省エネルギー・安全運転に努めます。  
外出・出張の際は、できるだけ公共交通機関を利用します。



### 電気製品

エアコン（冷房時 28℃、冬 20℃）の適温調整を行います。  
ブラインドやカーテンの活用や扉など開けっ放しにしないなど冷暖房効果を損なわないようにします。  
昼間、窓側の明るい場所、残業時の不要な照明は消します。  
昼休みには、可能な限り消灯します。  
使用していないパソコンやコピー機などOA機器は電源を切ります。  
省エネ認定の電気製品を購入します。



### ごみ

コピー用紙の使用量削減や古紙の利用を心がけます。  
電子メディア利用など、ペーパーレス化を行います。

### 水・住宅

節水コマを取り付けます。  
トイレなどでは節水に心がけます。  
新築・改築の際には省エネルギータイプの機器の導入や建物の高断熱・高气密化を考慮します。  
太陽光発電など自然エネルギーを活用した設備を設置します。

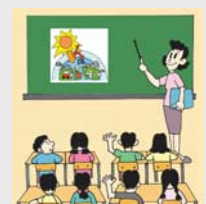
## 3) 学校の省エネルギー行動指針

### 学校に求められる役割

学校は、事業者としての立場から、地球温暖化の現状を認識し、省エネルギーがコスト削減につながるものとして、取り組んでいくことが求められるほか、学校の授業や講義などを通じて、学生や市民の省エネルギー意識の向上を図っていくことが求められます。

省エネルギー・環境教育に関する授業の充実を図るとともに、公開講座を開くなど小・中・高校等における授業の充実を図り、市民・学生・事業者に対する学習の場の提供に努めます。

省エネ普及指導員やボランティアの支援を入れて、地域との交流の推進に努めます。  
この他、事業者の省エネルギー行動指針の中で該当する行動に取り組むよう努めます。



#### 4) 行政の省エネルギー行動指針

##### 行政に求められる役割

行政は、市民・事業者・学校・観光客に対して、省エネルギーや地球温暖化の現状や対策に関する情報を提供し、その理解と具体的な対策行動を支援・推進する主体としての行動が求められます。また、行政は地域における事業者でもあり、消費者であるという側面をもつことから、行政自らが率先して省エネルギー対策を実践していく必要があります。

##### 普及・啓発

市民・事業者・学校・観光客を啓発し、情報の提供を行います。  
省エネ普及指導員等のボランティア活動の支援を行います。

##### 自動車・交通

バスの増便による公共交通機関の利用拡大を行います。  
省エネルギー車・アイドリングストップ車の普及・啓発及び公用車への導入を行います。

##### 施設

公共施設にクリーンエネルギーのシンボルとして太陽光発電・風力発電、公園、駐車場・道路等にLED（発光ダイオード）灯を設置します。  
新築・改築の際には省エネルギータイプの機器の導入や建物の高断熱・高气密化を考慮します。

#### 5) 観光客に求める省エネルギー行動指針

##### 観光客に求める役割

市民・事業者・行政は、観光客に対して、観光に来た際は自分ができる省エネルギー行動に努めるとともに、事業者・行政などが実施する省エネルギー対策に協力することを求めます。

観光に来る際は、公共交通機関を利用します。  
市内観光地の移動の際には、レンタサイクルやまほろば号などを利用します。  
ごみは持ち帰ります。  
この他、個人レベルで自分のできる省エネルギーを常に自覚して行動します。



#### 第3回太宰府市エコワーク・ネットの環境ポスターコンクール

テーマ「新エネルギーと省エネルギーを考えたわたしたちの暮らし」

(最優秀賞)

太宰府市立国分小学校

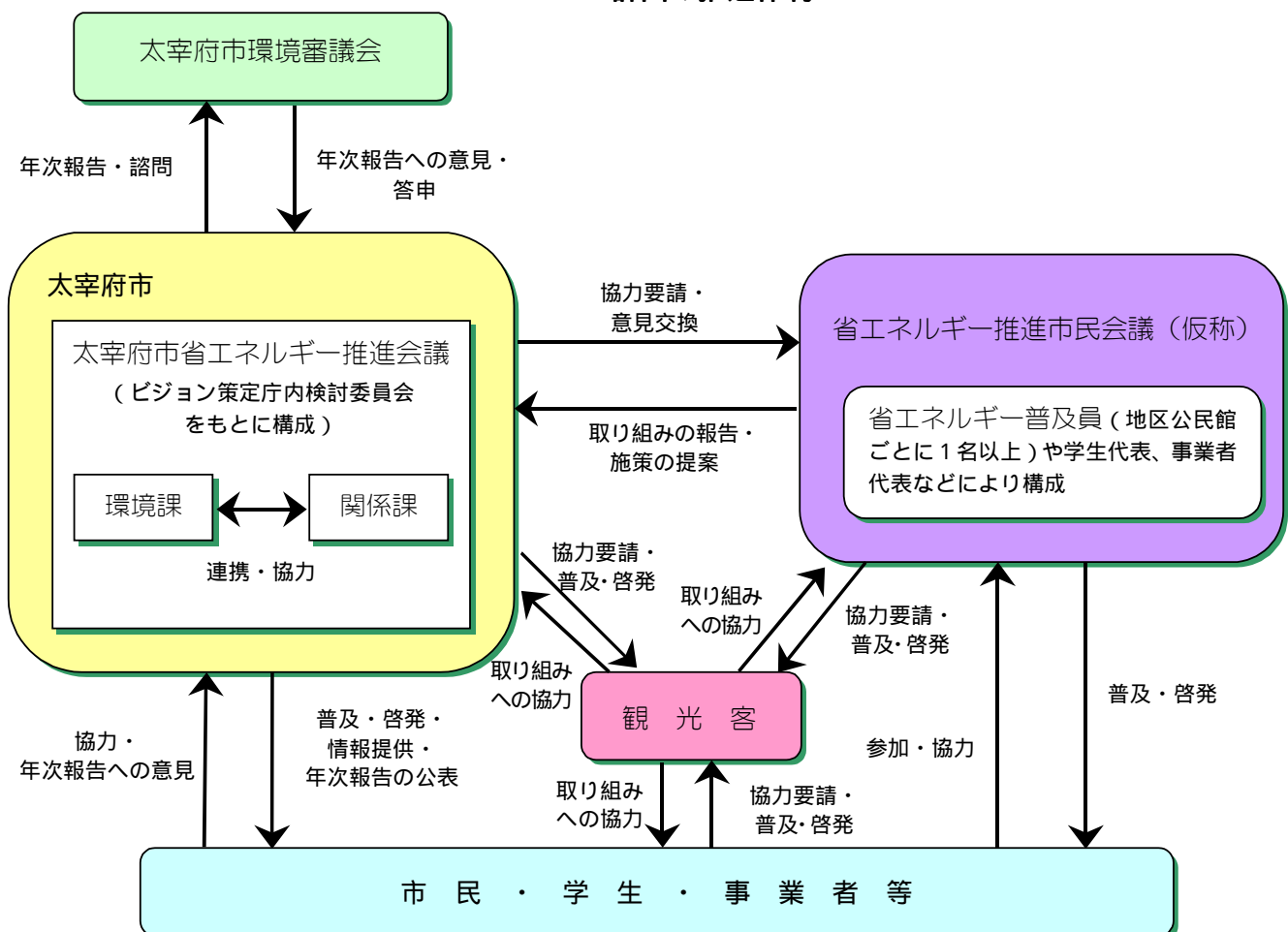
6年生 古田 遼平さんの作品



## 6. みんなが省エネルギーに参加する仕組み

太宰府市内における省エネルギーを推進するために、市民・事業者・学校の豊かで自由な発想力に期待し、地域全体の省エネルギー意識の向上や具体的活動展開に向けた図に示すような体制で取り組みを進めていきます。

### 計画の推進体制



#### 《各種会議の役割》

- ★太宰府市環境審議会：省エネルギービジョン全体の進行状況の点検・評価を行います。
- ★太宰府市省エネルギー推進会議：ビジョンの策定・見直しを行うとともに、ビジョンに基づく施策を着実に実施していきます。
- ★省エネルギー推進市民会議（仮称）：地区公民館ごとに任命する「省エネルギー普及員」及び事業者代表で構成する会議で、市民や事業者における省エネルギー対策を普及するとともに、市民・事業者・学生の取り組み行動の点検・評価や取り組みの提案を行います。

#### 太宰府市地域省エネルギービジョン概要版

平成16年3月発行

発行：太宰府市役所 市民生活部 環境課

住所：818-0198 福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号

TEL：092-921-2121（代表） FAX：092-921-1601

E-mail：kankyou@city.dazaifu.fukuoka.jp